

受験番号	
------	--

氏名	
----	--



2022年度 東京未来大学入学者選抜試験
一般選抜 A日程(1月29日実施)

国語



【注意事項】

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 試験時間は1科目60分です。
- 3 原則として、途中退出は認められません。試験中に気分が悪くなった人や、トイレに行きたくなった人は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページ落丁・乱丁及び汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
- 5 試験開始の合図の後、受験番号・氏名を、問題冊子と答案用紙の該当欄にそれぞれ正しく記入してください。
- 6 解答は、シャープペンシル又は鉛筆で記入してください。
- 7 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 8 「やめ」の合図があったら速やかに筆記用具を机の上に置いてください。
- 9 試験終了後、問題冊子、答案用紙はすべて回収します。
- 10 その他、必ず監督者の指示に従ってください。

I 現代文 一般選抜 A日程（1月29日実施）

次の文章を読んで、各問いに答えなさい。

本文省略

（森山卓郎『表現を味わうための日本語文法』岩波書店より）

□ 文章中の(ア)・(イ)の漢字の読み方を、ひらがなで答えなさい。(ウ)のカタカナは漢字に直しなさい。なお、ひらがな及び漢字は丁寧^ニに書きなさい。

ア 勧め イ 強いる ウ ダンギ

□ 文章中の①・②・③に入る最も適当な言葉を、それぞれについて、次から一つずつ選んで、記号で答えなさい。

ア また イ というのは ウ 例えば エ だから
オ しかし カ むしろ キ では ク 次に

□ 文章中の「Ⅰ」・「Ⅱ」・「Ⅲ」に入る最も適当な言葉を、文章中の他の部分から探して、「Ⅰ」・「Ⅱ」は二文字の漢字で、「Ⅲ」は二文字のひらがなで答えなさい。

□ 文章中の「a・b・c・d・e」に入る最も適当な言葉を、次のア～キから一つずつ選んで、記号で答えなさい。

ア どうぞ、協力してください。
イ これ、飲んでいただけませんか。
ウ これ、飲んでください。
エ いやあ、結構です。
オ はい、すぐにやります。
カ この書類をコピーしてくださいませんか。
キ この書類をコピーしてください。

〔五〕次に示す一段落が、本文中から欠落している。正しく挿入した場合、後に続く段落の最初の五文字を答えなさい。(句読点がある場合は、句読点も含む。)

丁寧かどうかは、単に言葉だけで決まるのではなく、相手への心配りが重要です。相手に何かをするよう求める場合、その内容がその相手にとってどのような性質を持つのかを考える必要があります。例えば「座る」動作を求める場合でも、新しい椅子の開発実験で協力してもらおう場合と、電車などで座席を譲る場合とでは、自ずと表現が違ってきます。

Ⅱ 言語事項 一般選抜 A日程(1月29日実施)

一 次の①～⑤の空欄にあてはまる漢字一文字を書き、ことわざや慣用句を完成させなさい。なお、漢字は楷書で丁寧に書きなさい。

- ① 効果がほとんど期待できないことのとたとえ。「焼け()に水」
- ② 思うようにならないたとえ。「二()から目薬」
- ③ 名人も時には失敗することのとたとえ。「河童の()流れ」
- ④ 人の急所を鋭く突く厳しい戒め。「頂門の()」
- ⑤ 表現しきれないほど程度がはなはだしいこと。「筆()に尽くしがたい」

二 次の①～⑤のカタカナの部分^アを漢字に直すとき、最も適当なものを()の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① ユウシユウの美を飾る。(ア 優秀 イ 憂愁 ウ 有終)
- ② ごコウイに甘えさせていただきます。(ア 好意 イ 厚意)
- ③ 環境政策にカンシンをもつ。(ア 関心 イ 感心 ウ 歓心)
- ④ 「納得いかない。その提案にイギあり。」(ア 意義 イ 異議 ウ 異義)
- ⑤ 責任をツイキユウする。(ア 追究 イ 追求 ウ 追及)

三 次の①～③の問いに答えなさい。

① 次のA～Cの作品について、それぞれの著作者を選び、記号で答えなさい。

A 舞姫 B 武蔵野 C 田舎教師

ア 二葉亭四迷
イ 島崎藤村
ウ 田山花袋
エ 谷崎潤一郎
オ 川端康成
カ 森鷗外
キ 国木田独歩

② 夏目漱石の作品でないものを一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 硝子戸の中 イ 三四郎 ウ 門
エ 彼岸過迄 オ 友情

③ 石川啄木の歌集を一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 山羊の歌 イ 抒情小曲集 ウ みだれ髪
エ 悲しき玩具 オ 赤光

Ⅲ 現代文 一般選抜 A日程（1月29日実施）

次の文章を読んで、各問いに答えなさい。

本文省略

（柴崎初太『随想教育散見』第一法規出版より）

一 文章中の（ア）～（ウ）の漢字の読み方を、すべてひらがなで答えなさい。なお、ひらがなは丁寧に書きなさい。

ア 押印 イ 巨匠 ウ 笑納

二 文章中の①～⑤に入る最も適当な言葉を、次のア～コの中からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

ア	ペン字	イ	無理	ウ	諦め ^{あきら}	エ	救い	オ	執着
カ	冬枯	キ	晩秋	ク	愛着	ケ	毛筆	コ	容易

〔三〕 文章中には、同じ人物が別の言い方で登場する。明らかに同じ人物を示しているものを、次のア～クの中から二つ選んで、記号で答えなさい。

- | | |
|--------------|---------------|
| ア 「私」と「木村素衛」 | イ 「木村素衛」と「著者」 |
| ウ 「著者」と「T」 | エ 「T」と「女人」 |
| オ 「女人」と「読者」 | カ 「読者」と「巨匠」 |
| キ 「巨匠」と「著者」 | ク 「著者」と「私」 |

〔四〕 この文章の題名として最もふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 読者の紙片
- イ 読者の喜び
- ウ 読者の個性
- エ 読者の心

問題は以上です。